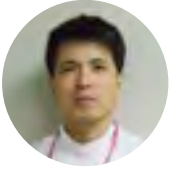


随筆



初めての与那国島 ～離島の医療体制を考える～

公立久米島病院 内科
久田 友治

与那国島は、わが国の最西端にあり、テレビドラマ Dr. コトーのロケ地になった。与那国診療所が公立久米島病院と共に地域医療振興協会に運営を委託されている事から、去った5月に代診医として訪れた。

与那国空港まで那覇空港から直行で約1時間半。早朝の空港で出迎えてくれたのは、診療所の医師と事務員だけではなかった。深夜に緊急で来院し、今は車いすに座っている片麻痺の男性、そして、たった今救急室に入ってきたばかりではないかと思える様な明らかに心不全と判る、マスクで酸素吸入中の高齢女性の二人が空港にいた。島には入院設備が無いので石垣の病院にこれから医師と共に民間機で移動するというのだ。国境の島での救急医療の過酷さをいきなり突き付

けられ、そこで奮闘する県外出身の医師に頭が下がった。患者移送は海上保安庁のヘリに依頼する事もあると後で知ったが、先島でもドクターヘリを運用する事が必要だと強く思った。沖縄県も検討を進めていると期待している。

数日間の滞在先は診療所近くの民宿である。県外からのリピーターの観光客や沖縄本島から電気工事でやって来た若者、与那国馬の写真を撮りに北欧から来た女性と様々だ。民宿からはティンダハナタが見え、後日そこに行ってみた。ティンダハナタは標高85mの天然の展望台で、ナンタ浜や民宿のある祖納（そない）の集落が見下ろせる絶景の地であり（図1）、伝説の女首長が住んでいたそうだ。医学部時代の友達が40年程前に、熱帯医学研究会と云うサークルで与那国までやって来た事があるそうで、又そこに登って泡盛を飲みたいと話していた。休日は島内のあちらこちらを訪れた。久部良の港、台湾が見える日もある西崎そして日本最後の夕陽（図2）、荒々しい岩がそそり立つ海岸線、草原そして車道を闊歩する与那国馬の群れ、与那国の自然は雄大である。皆様にも是非、訪問をお勧めしたい。



図1

話はかわるが、県内離島には16の県立診療所以外に、与那国町立の与那国診療所、伊江村立診療所そして竹富町立の竹富診療所と黒島診療所がある。県立の離島診療所は、中部病院などで研修した自治医大卒などの若い医師によるローテーションで運用されている。しかし、県立でない幾つかの診療所では医師がローテーションする体制が充分には出来ていない。

さて、肝腎な代診の話だが、腰痛、上気道感染などコモンな病気の患者が主であるが、夜間に携帯に電話が入り、診療した患者が2名ほどいた。医師会員の方々に知って頂きたいと思った事がある。それは眼科や耳鼻科などの専門外来の医師が遠く東京などから支援に来ている事である。その医師達は何らかの使命感をお持ちだと思う。ただ、遠方から来て頂かなくても、沖縄県の医師数は全国並みになっているのである。

また「働き方改革」が2017年の流行語大賞にノミネートされた。医師の働き方改革については、応招義務などの特殊性を踏まえた対応が必要とされ、結論は5年後に出る予定だ。その中で「医師は労働者か」といった議論も起こり、検討会でも勤務医のほとんどは労働基準法上の労働者であることが示された。おりしも12月20日の読売新聞の電子版では「医師偏在対策、都道府県に“医師確保計画”義務づけ」との見出しで、厚生労働省の有識者会議は、医師が都市部に集中し、地方で不足する地域偏在問題への対策を盛り込んだ報告書をまとめ、その中で都道府県に対し、確保すべき医師数の目標や具体策を盛り込んだ「医師確保計画」の策定を義務づけるとされた。この件について沖縄はどのように考えるのだろうか。



図2



随筆



美ら島・美ら海

八重瀬会 同仁病院
上原 久幸

平成元年に医師免許書を無事取得。浪人中の19歳の時に、医師であった父が、脳血管障害で突然倒れ、他界した。そんなこともあって、経済的危機感を感じながら勉強した。その甲斐あってか、自分にしては比較的順調に大学生生活を終え国家試験を通過することが出来た。ひとまず安堵感を得た。しかし、振り返ってみると、社会人となり医師としての第一歩が始まると、早くひとり立ちできるようになりたいと思い、やはり仕事に埋没していったような気がする。そんな中、7～8年ぐらい前になるだろうか、庭先で、ふとスズメがいなくなること気がついた。一体いつ頃からこのような事態になったのか。主にネットからの情報ではあるが、調べてみた。やはり同じようなことを感じていた人はいたようで、「スズメを見かけません」というタイトルの地方版意見サイトがあった。2013年に投稿されていて、それに対する返信やコメントが、今年までに幾つかあされていた。それによると、2003年頃から、那覇市内では、スズメを見かけなくなったとするコメントがあった。なぜいなくなったのか。単純には、都市化のせいだと考えてしまうことが多いのではないかと思うが、スズメは、都市、農村、里などの人の居住域付近が生息地とされており、人間が住み始めた集落にスズメも居着き、逆に人間が離れ集落が無になるとスズメも見られなくなるという傾向があるようだ。スズメは、日本全国におり、減少傾向は、全国的なものようだ。はっきりとした原因は分かっていないようだが、気密性の高い住宅の普及によって営巣場所が減少したことが一因とされている。

思えば、子供の頃の記憶をたどってみると、30～40年前は、今よりもずっと、草が生い茂り放置された空き地が、あちらこちらに点在していた。そして、実にいろいろな小さな生き物が、普通に身の回りにいた。夏ともなれば、クマセミ、カナブン、アオカナヘビ（アンダチャー）、バッタなどが、そこらへんの公園や空き地の木々や草むらに普通にいて、好奇心旺盛な子供の頃、よく捕獲していた。旧那覇市役所敷地内には、噴水があったが、その水辺には、アメンボがよく浮いていた。また、那覇市内でも少し木々や草が生い茂った場所で、ちょっとした用水路や水たまりがあると、オタマジャクシやメダカがいた。比較的大きな空き地で草が生い茂っていると、トノサマバッタやカマキリなども時々みられ、そんなところから飛来するのか、カマキリなどは庭先など意外なところではしばしば遭遇することがあった。何かいると思いつく近くに焦点を切り替えてよく見たら、カマキリが、両方のカマを持ち上げて、こちらをじっと見つめている。目が合うとこちらの意向を推し量るかのよう首をかしげる。そんな突然の光景にぎょっとすることもしばしばあった。他にも、クロアゲハ、モンシロチョウ、カミキリムシ、ミツバチ含め数種類のハチ、アブなどが家の庭先に飛び込んでくることがよくあった。夏休みが終わる8月後半にもなると、クマセミの鳴き声も絶え絶えとなり、代わりに、午後からは、ヒグラシが鳴き始める。それを聞くと、いよいよ夏休みが終わるなという寂しさと、やり残した宿題が有ることに焦りを感じた。思いつくまま、子供の頃に、近所でよく遭遇した小さな生き物たちを列挙してみたが、今では、クマセミ以外のこの小さな生き物たちの多くを見かけることはほとんどなくなった。

同じように、海を見ていても、このような寂しい気持ちがこみあげてくる。近年、多くのリゾートビーチが出来、いかにも南国の海らしいところが、観光向けにPRされているが、30～40年前の沖縄の海は、もっと綺麗だったよう

な気がする。青い空、エメラルドグリーンの海、白い砂浜がもっと眩しく色あざやかだったような気がする。私は、中学生の3年間は、千葉県にいたが、沖縄を離れるまでは、「そば」と「海の砂」は、白いものだと思っていた。しかし、本土では、そうではなかった。グレー色だった。私にとって、それは、ちょっとしたカルチャーショックだった。九十九里浜を始めてみた時は、正直、「うそおっ！こんなところで泳ぐの」と思ってしまった。それ以来、沖縄の海が、いかに美しいものであるかということを知った。昨年、新聞で「伊芸コスモス祭り」という記事を見つけた。亜熱帯の沖縄でもそんなものが見られるのかと思い、329号線をマイカーで北上した。しかし、もともと農地を利用して、期間限定でもあり、時遅くピークも過ぎ、すでに多くのものが刈り取られていた。悔しい気持ちを埋めるべく、行く途中で目についた伊芸海浜公園へ行ってみた。もともと東海岸には、自由に出



入りできる海岸が点在していることを知っていたので、海岸沿いをチラ見しながら走行していたら、その日たまたま見つけたのが、この場所だ。駐車スペースは、広くはないが、そこそこ整備されていた。トイレのそばの細く短い路地を通ると、白い砂浜と海が開けた。昔は、西海岸もこんな感じで、那覇から北部向けに58号線（旧国道1号線）を走行中に、路上駐車して、整備もされていない木立を通り抜けると、眼前には白い砂浜と海が広がっているといった場所がいくつもあった。今では、西海岸は、リゾートホテルが連なって、自由に出入りできる海岸がほとんどなくなってしまった。夕日の沈む西海岸は、若人や観光客がつどい、ほとんど観光地化されてしまった。しかし、東海岸には、今でも、自由に出入りできる場所が点在している。そして、人は、まばらだ。だから、人に荒らされずに昔ながらの自然がそのまま残っている。そんな海岸で、海風に当たりながら波の音を聞いていると、ほっとして、心が和む。経済発展のために「それ行けどんどん」で来て、そのツケかどうかは分からないが、温暖化現象による環境の悪化が懸念されているだけに沖縄の行く末も心配だ。昔、普通にあったものが、今となっては、どんどん希少化してきている。今ある自然や環境も、どんどんその形を変えていくかもしれない。美ら島が、美ら海が、永遠であることを願う。



感 染 症 情 報

沖縄県感染症発生動向調査報告状況

(定点把握対象疾患)

疾 病	定点区分	1 週	2 週	3 週	4 週	
		1/7	1/14	1/21	1/28 (定点あたり)	
		報告数	報告数	報告数	報告数	
インフルエンザ	インフルエンザ	1842	2293	3688	3238	(55.83)
RSウイルス感染症	小児科	7	9	13	10	(0.29)
咽頭結膜熱	小児科	5	5	8	6	(0.18)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	31	50	56	42	(1.24)
感染性胃腸炎	小児科	97	95	107	87	(2.56)
水痘	小児科	25	20	19	15	(0.44)
手足口病	小児科	13	18	35	17	(0.50)
伝染性紅斑	小児科	0	0	0	0	(0.00)
突発性発疹	小児科	5	9	8	9	(0.26)
ヘルパンギーナ	小児科	0	0	2	1	(0.03)
流行性耳下腺炎	小児科	1	3	6	4	(0.12)
急性出血性結膜炎	眼科	14	0	0	0	(0.00)
流行性角結膜炎	眼科	1	19	9	15	(1.50)
細菌性髄膜炎	基幹	2	0	0	0	(0.00)
無菌性髄膜炎	基幹	1	2	1	3	(0.43)
マイコプラズマ肺炎	基幹	0	1	0	0	(0.00)
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	基幹	0	0	0	0	(0.00)
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	基幹	0	0	0	0	(0.00)

- ※1. 定点あたり・・・対象となる五類感染症(インフルエンザなど18の感染症)について、沖縄県で定点として選定された医療機関からの報告数を定点数で割った値のことで、言いかえると定点1医療機関当たりの平均報告数のことです。(インフルエンザ定点58、小児科定点34、眼科定点10、基幹定点7点)
- ※2. 最新の情報は直接沖縄県感染症情報センターホームページへアクセスしてください。
<http://www.idsc-okinawa.jp>

(麻しん確定情報)

1週から4週までの、県内での麻しん確定報告はありません。

お 知 ら せ

文書映像データ管理システムについて(ご案内)

さて、沖縄県医師会では、会員へ各種通知、事業案内、講演会映像等の配信を行う「文書映像データ管理システム」事業を平成23年4月から開始しております。

また、各種通知等につきましては、希望する会員へ郵送等に併せてメール配信を行っております。

なお、「文書映像データ管理システム」(下記URL参照)をご利用いただくにはアカウントとパスワードが必要となっており、また、メール配信を希望する場合は、当システムからお申し込みいただくことしております。

アカウント・パスワードのご照会並びにご不明な点につきましては、沖縄県医師会事務局(TEL098-888-0087 担当:徳村・国吉)までお電話いただくか、氏名、医療機関名を明記の上omajimusyo@okinawa.med.or.jpまでお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。

○「文書映像データ管理システム」

URL: <http://www.documents.okinawa.med.or.jp/>

※当システムは、沖縄県医師会ホームページからもアクセスいただけます。

日本医師会からのお知らせ

勤務医・研修医の日医会費の引き下げについて（お知らせ）
 ～日医医賠償保険料引き下げに伴い会費が下がります！～

日本医師会では、平成 30 年度より勤務医 A②B 会員・研修医 A②C 会員の日医医師賠償責任保険料の引き下げに伴い会費が引き下げられます。特に、若手勤務医及び研修医のサポートの一環として、30 歳以下の勤務医及び研修医については、医賠償保険料の一部を日本医師会が負担することとし、若手医師が日本医師会に加入しやすく、また研修医会員が研修期間終了後も会員を継続しやすい会費設定となるよう改定がなされておりますので、以下の通りご案内いたします。

●主な改正内容

1. A②B、A②C 会員の会費額が、医師賠償責任保険料の引き下げに伴って下がります。
2. 若手勤務医及び研修医のサポートとして、30 歳以下の A②B 及び A②C の医賠償保険料の一部を日本医師会が負担することで更に会費額が下がります。

A②B 会員 : 82,000 円から 31 歳以上は 68,000 円、30 歳以下は 39,000 円に変更

A②C 会員 : 33,000 円（減免後）から 15,000 円（減免後）へ変更

日本医師会会費額一覧

会員区分	日本医師会年会費 () 内は医賠償保険料		
	平成 30 年 4 月以降		増減
A①	126,000 円 (66,000 円)		126,000 円 (66,000 円) 変更なし
A②B ※	68,000 円 (40,000 円)		△14,000 円
	30 歳以下	39,000 円 (11,000 円)	△43,000 円
A②C	減免後 15,000 円 (15,000 円)		減免後 33,000 円 (33,000 円) △18,000 円
B	28,000 円		28,000 円 変更なし
C	減免後 0 円		減免後 0 円 変更なし

※A②B 会員は、当該年度の 4 月 1 日現在の年齢で会費額が異なります。

(参考)

A①	病院・診療所の開設者、管理者およびそれに準ずる会員
A②B	上記A①会員およびA②C会員以外の会員
A②C	医師法に基づく研修医
B	上記A②B会員のうち日本医師会医師賠償責任保険加入の除外を申請した会員
C	上記A②C会員のうち日本医師会医師賠償責任保険加入の除外を申請した会員

講演会・例会のご案内

(3月10日～5月9日)

カリキュラムコード(略称：CC)

医師のプロフェッショナルリズム	1 全身倦怠感	18 けいれん発作	35 胸やけ	52 不安	69
医療倫理：臨床倫理	2 身体機能の低下	19 視力障害、視野狭窄	36 腹痛	53 気分の障害(うつ)	70
医療倫理：研究倫理と生命倫理	3 不眠	20 目の充血	37 便通異常(下痢、便秘)	54 流・早産および満期産	71
医師－患者関係とコミュニケーション	4 食欲不振	21 聴覚障害	38 肛門・会陰部痛	55 成長・発達の障害	72
心理社会的アプローチ	5 体重減少・るい瘦	22 鼻漏・鼻閉	39 熱傷	56 慢性疾患・複合疾患の管理	73
医療制度と法律	6 体重増加・肥満	23 鼻出血	40 外傷	57 高血圧症	74
医療の質と安全	7 浮腫	24 嘔声	41 褥瘡	58 脂質異常症	75
感染対策	8 リンパ節腫脹	25 胸痛	42 背部痛	59 糖尿病	76
医療情報	9 発疹	26 動悸	43 腰痛	60 骨粗鬆症	77
チーム医療	10 黄疸	27 心肺停止	44 関節痛	61 脳血管障害後遺症	78
予防と保健	11 発熱	28 呼吸困難	45 歩行障害	62 気管支喘息	79
地域医療	12 認知能の障害	29 咳・痰	46 四肢のしびれ	63 在宅医療	80
医療と介護および福祉の連携	13 頭痛	30 誤嚥	47 肉眼的血尿	64 終末期のケア	81
災害医療	14 めまい	31 誤飲	48 排尿障害(尿失禁・排尿困難)	65 生活習慣	82
臨床問題解決のプロセス	15 意識障害	32 嚥化困難	49 乏尿・尿閉	66 相補・代替医療(漢方医療を含む)	83
ショック	16 失神	33 吐血・下血	50 多尿	67 その他	0
急性中毒	17 言語障害	34 嘔気・嘔吐	51 精神科領域の救急	68	

開催日	場所	名称	講師	単位・CC	問合せ先 参加費
03/11 (日) 10:00	沖縄県立博物館	2018医師・医療スタッフのための 糖尿病セミナーin沖縄 (日医生涯教育講座) ①経口血糖降下薬の使い方・ 使われ方2018 ②糖尿病患者さんへの薬剤師 の関わり ③糖尿病と歯周病 ④2型糖尿病における食事療 法の新しい視点	①屋宜 宣治(屋宜内科医院) ②宮城 英之(中頭病院薬剤部) ③真喜志 早江子(まさし歯科) ④田中 逸(聖マリアンナ医科大学 代謝・内分泌内科)	①0.5単位・12) ②0.5単位・10) ③0.5単位・73) ④1.5単位・15)76) 82)	アステラス製薬(株) 近藤 奈央 098-860-6753 参加費 なし
03/14 (水) 19:30	ザ・ナハテラス	沖縄整形外科学会学術講 演会 (日医生涯教育講座) 変形性膝関節症の病態と治療の すすめ方	中川 匠(帝京大学医学部整形外科 教授)	1.0単位・61)82)	帝人ファーマ(株) 壽 雄太 098-871-1850 参加費 整形外科医(日整 会単位申請料含む)2,000 円・他科医師、医師以外 1,000円
03/16 (金) 19:00	ダブルツリーbyヒル トン那覇首里城	第14回沖縄リウマチ薬研究会 (日医生涯教育講座) ①未定 ②未定 ③Ninjaで斬る関節リウ マチ診療の実態と課題	①真嘉比 菊枝(県立中部病院リ ウマチ・膠原病内分泌科看護師) ②上間 貴仁(那覇市立病院腎臓 内科) ③松井 利浩(国立病院機構相模 原病院リウマチ科医長)	①0.5単位・1) ②0.5単位・9) ③1.0単位・61)73)	ファイザー(株) 山口 哲二 080-3583-9267 参加費 医師1,000円
03/22 (木) 19:00	ザ・ナハテラス	沖縄フレイル講演会 (日医生涯教育講座) フレイルと人参養榮湯－健康長 寿に向けて－	乾 明夫(鹿児島大学大学院心身内 科学分野教授)	1.0単位・22)83)	クラシエ薬品株式会社 江原 康介 080-4182-2559 参加費 なし

開催日	場所	名称	講師	単位・CC	問合せ先 参加費
03/28 (水) 19:30	沖縄県医師会館	会員の倫理・資質向上に関する講演会 (日医生涯教育講座) 【専門医共通講習-①医療倫理(必修)】医師の倫理と法的責任の境界～終末期医療をめぐる諸問題～	阿波連 光(ひかり法律事務所)、植松孝則(ひかり法律事務所)、古謝 千尋(ひかり法律事務所)	1.5単位・1)3)7)	沖縄県医師会 國吉 栄人 098-888-0087 参加費 なし
03/30 (金) 19:10	P's SQUARE	身近になった肺高血圧症診療を考える会 (日医生涯教育講座) ①未定 ②当院の肺高血圧症専門外来のあゆみ	①池宮城 秀一(琉球大学大学院 医学研究科第三内科助教) ②窪田 佳代子(鹿児島大学大学院 心臓血管・高血圧内科学助教)	①0.5単位・45) ②0.5単位・12)	アクテリオンファーマシューティカルズジャパン(株) 新垣 俊樹 092-481-2860 参加費 なし

※最新の情報はホームページで逐次更新していますので、ご確認ください。
※お願い:5月10日～7月9日迄の講演会例会等が決まれば、3月25日迄に業務1課(098-888-0087)へご一報下さい。

日医認定健康スポーツ医再研修会のお知らせ

●女性アスリート診療のための講習会

日 時：平成 30 年 3 月 25 日（日） 12：00～15：30

場 所：沖縄県医師会館 3階ホール

単位数：3単位

参加費：3,000円（当日徴集致します）

内 容：①「女性アスリートにみられる疾病と治療」

講師 南生田レディースクリニック 院長 石川雅一 先生

②「女性アスリートへの栄養指導」

講師 日本スポーツ栄養学会 小清水孝子 先生

③「アンチ・ドーピングの基礎知識」

講師 国立スポーツ科学メディカルセンター 薬剤師 上東悦子 先生

申込方法：沖縄県医師会ホームページ「健康スポーツ医」のページ
(http://www.okinawa.med.or.jp/html/sagyo_gakujutu/sportsi/sportsi.html)

より、申込書をダウンロードし、FAXにてお申し込みください。

申込締切：平成 30 年 3 月 12 日（月）



沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター 医療関係者研修開催のお知らせ

本会では沖縄県からの委託を受けて、昨年度に引き続き、沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター医療関係者研修を下記のとおり開催いたします。本研修では、性暴力被害者への被害直後からの総合的支援のあり方について、医療従事者（医師・看護師等）を対象に、以下の研修を予定しております。参加ご希望の方は、研修日に○印を付け、必要事項を記載の上、来る3月1日(木)までにFAX（098-888-0089）にてお申し込み下さい。

期日 場所	<input type="checkbox"/> 平成30年3月18日（日） 於：沖縄県医師会館
所属機関	
連絡先	
氏名	
職種	経験年数 年 月
担当業務	

研修内容

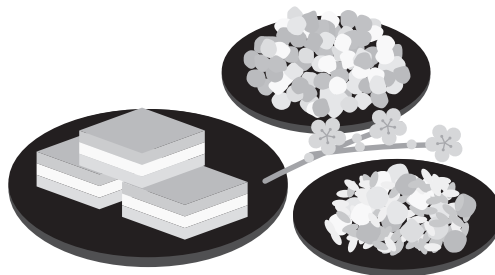
時間	開催日/研修項目
期日 場所	平成30年3月18日（日） 於：沖縄県医師会館
13：00～ 14：40 講義：90分 質疑：10分	子どもへの事実確認 -司法面接の方法を用いて- 立命館大学 総合心理学部 教授 仲 真紀子 先生
14：45～ 15：10 講義：15分 質疑：10分	沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター相談実績等 コーディネーター 渡慶次英子
15：10～ 15：40 講義：20分 質疑：10分	児童虐待相談対応件数等の実態 沖縄県警察本部 少年課 島袋善彦
15：45～ 16：55 講義：60分 質疑：10分	講義内容：児童精神科領域 国立病院機構琉球病院 児童精神科医師 原田聰志
17：00～ 18：10 講義：60分 質疑：10分	講義内容：急性期領域 県立中部病院 産婦人科医師 三浦耕子

沖縄県医師会事務局 崎原
TEL: 098-888-0087 FAX: 098-888-0089

～ICLS コース開催のお知らせ～

ICLS(Immediate Cardiac Life Support)コースとは、最新の心肺蘇生ガイドラインに基づいた二次救命処置について学ぶ日本救急医学会認定のトレーニングコースです。成人の心肺停止に的をしぼり、最初の10分間に行うチーム医療を、シミュレーション実習を通して学びます。今年度、開催期日が決定しましたのでお知らせします。

名称	時間	実施場所
第59回 新おきなわICLSコース	3月4日(日) 9:00～18:00	おきなわクリニカル シミュレーションセンター
<p>✚ 各コースとも受講料(昼食代込、テキスト代別)は、医師・歯科医師8,000円、コメディカル6,000円を予定しています。</p>		
<p>✚ 各コースとも募集は2ヶ月前に以下リンク先に掲載されますので、お申込み下さい。</p> <p>✚ 沖縄県医師会 http://www.okinawa.med.or.jp/html/kyukyu/kyukyu/kyukyu.html</p> <p>✚ おきなわクリニカルシミュレーションセンター http://okinawa-clinical-sim.org/course.html</p>		
<p>✚ 受講選考については、これまで通り申し込み順ではなく、施設間のバランスやインストラクターの参加状況を踏まえ、決定することになりますので、ご了承ください。</p>		
<p>・問い合わせ先: trees@me.au-hikari.ne.jp (沖縄ERサポート 林 峰栄)</p> <p>・問い合わせ先: 沖縄県医師会事務局 業務1課(崎原)</p> <p>TEL. 098-888-0087 FAX. 098-888-0089</p>		



産業医研修会のご案内

嘱託産業医活動情報書

沖縄県医師会では、事業場からの産業医紹介依頼に対応するため、産業医としての契約を希望されている先生方の情報を取りまとめたいと考えております。ご協力いただける方は下記事項に記入いただき提出をお願い致します。
 ※事業場との契約内容(報酬等)については、事業主と産業医の相談により決定となります。

申込み日 平成 年 月 日 ()

産業医氏名		診療科目	
医療機関名			
住 所			
電話番号		FAX	
メールアドレス			

嘱託産業医を受託する際のご希望をお聞かせ下さい。

項 目	ご 希 望 条 件
実施可能件数	1件 ・ 2件 ・ 3件 ・ 4件 ・ 5件以上
事業所規模	従業員数 ①50人～99人 ②100人～149人 ③150人以上
業種について	①建設業 ②製造業 ③運送業 ④サービス業 ⑤IT業 ⑥その他 ()
病院から事業所までの所要時間 (片道)	①30分程度 ②45分程度 ③1時間程度 ④時間は気にしない
事業所への訪問、実施曜日 (事業所訪問は基本月1回)	①企業の都合に合わせる ②双方相談のうえ調整
()に第何週か記入下さい	①第 () 水曜日 ②第 () 木曜日 ③第 () 土曜日
ストレスチェックの 実施者 になることについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェックの 共同実施者 になることについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェック後の高ストレス者に対する面接指導について	① 実施可能 ②実施不可 ③要相談
地区医師会との情報共有	① 許可する ②許可しない

メモ欄

連絡先
 沖縄県医師会 業務1課(與儀)
 TEL:098-888-0087
 FAX:098-888-0089

沖縄県ドクターバンクからのお知らせ

常勤・非常勤での勤務先を探している、ベテランの技を活かしスポット勤務で働きたいとお考えの先生方、または産業医として勤務できる事業所をお探しの皆様！沖縄県ドクターバンクに登録してみませんか？当バンクでは多くの求人情報の中から、皆様のご希望に合う医療機関をご紹介します。

☆下記の登録票に必要事項をご記入の上、沖縄県医師会事務局 業務1課まで、FAXにてお申し込みください。

FAX 番号:098-888-0089

沖縄県ドクターバンク登録票 (医師用)

*項目は必須

受付登録日： 年 月 日 受付番号：

ふりがな *氏名	-----		*生年月日	(西暦) 年 月 日生	
*住所	〒 -				
*連絡先	電話(自宅または携帯)：				
	E-mail：				
*医籍登録日	年 月 日登録	保険医登録番号	医 号		
*医籍番号	第 号	*専門診療科			
資格	専門医資格	その他の資格			
*現在の状況	①就業中 ②休職中(産休・育休・病休) ③離職中 ④その他：				
現在の勤務先					
希望条件	就業形態	①常勤 ②非常勤(頻度 回/月程度) ③その他：			
	希望診療科				
	施設種別	①病院 ②診療所 ③その他：			
	希望地域	第1希望： <input type="checkbox"/> 那覇 <input type="checkbox"/> 南部 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 北部 <input type="checkbox"/> 離島			
		第2希望： <input type="checkbox"/> 那覇 <input type="checkbox"/> 南部 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 北部 <input type="checkbox"/> 離島			
	勤務希望時期	①今すぐ ②平成 年 月頃から ③未定			
	勤務時間	勤務可能な曜日	月・火・水・木・金・土・日		
		勤務可能な時間帯	時 分 ~ 時 分		
	当直勤務	①できる ②できない			
	希望業務内容	①病棟 ②外来 ③健診 ④パート ⑤臨時 ⑥産業医			
	給与	常勤務の場合	月給：	以上	
		非常勤の場合	日給：	以上	月給： 以上
		臨時の場合	時給：	以上	
保育所	①必要 ②必要なし				
再就業のための再研修	①必要 ②必要なし				
その他希望					

*氏名、住所等の個人が特定される情報につきましては、個人情報保護関連法令に則り開示・公表また無断流用は一切いたしません。

《提出・問合せ先》
〒901-1105 南風原町字新川218-9
沖縄県医師会事務局
業務1課 ドクターバンク担当
TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089

沖縄県医療勤務環境改善支援センター ニュースレター

平成 30 年 1 月 5 日発行 第 61 号

沖縄県医師会(沖縄県医療勤務環境改善支援センター)
〒901-1105 南風原町字新川 218-9
TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089
mailto:g1@ml.okinawa.med.or.jp

★ 労務管理ピックアップ

いよいよ発生する(平成30年4月から)「有期契約労働者の無期転換申込権」

医療労務管理アドバイザー(特定社会保険労務士) 金城 由紀子

平成30年4月から、期間の定めのない労働契約(無期労働契約)となる無期転換制度の対象者が発生します。無期転換制度の導入にあたって、まずは無期転換制度に関する正確な資料を収集し、きちんとした理解に基づいて制度設計を行う必要があります。

無期転換制度は、労働契約法18条の法制度ですから、無期転換制度を検討する場合、労働契約法18条と同条に関する行政通達の知識が基本となります。無期転換申込権の発生要件やクリーニング制度、有期特措法等の理解には、条文や施行規則と併せて、厚生労働省のパンフレットも確認されるとよいでしょう。

また、厚生労働省では、「有期契約労働者の無期転換ポータルサイト」を公開しており、パンフレットにない情報も掲載されています。

無期転換制度を検討する場合、これらの情報・資料は無期転換制度設計における前提知識となるので、目を通しておくことが必要です。

また、無期転換する前の労働条件を確認する必要がありますので、有期契約労働者の就業規則や給与規定の整備、労働契約書も漏れなく収集・整理しておくことをお勧めします。

※ 無期転換制度の導入にあたって必要となる事項についてのお問合せ・ご相談は、医療勤務環境改善センターをご利用ください。

★Q&A 「同一労働同一賃金」



Q: 働き方実行計画に提示されている非正規雇用の処遇改善の「同一労働同一賃金」とは、非正規職員にも正職員と同じ賃金を支払わなければならないというのでしょうか。

A: 平成28年12月に「同一労働同一賃金ガイドライン案」が政府により公表され、「同一労働同一賃金の法整備」を行うことが、働き方改革の実行計画の具体的施策とされました。

「同一労働同一賃金」とは、一般に同じ労働に対して同じ賃金を支払うべきという考え方です。

具体的には、同一企業・団体における正規雇用労働者と非正規雇用労働者との間で、「均等待遇」と「均衡待遇」を求める考え方です。

正規と非正規の「均等待遇」とは、正規雇用労働者と非正規雇用労働者とが、①職務内容(=業務内容・業務に伴う責任の程度)と、②当該職務の内容及び配置の変更の範囲(=人材活用の仕組み)が同一である場合には、非正規雇用労働者の待遇について、正規雇用労働者と比較して差別的取扱いをしてはならないとするものです。

「均衡待遇」とは、正規雇用労働者と非正規雇用労働者の待遇に相違がある場合に、待遇の相違は、①職務内容、②当該職務の内容及び配置の変更の範囲、③運用その他の事情の3要素を考慮して、不合理であってはならないとするものです。

沖縄県医療勤務環境改善支援センター ニュースレター

平成 30 年 1 月 19 日発行 第 62 号

沖縄県医師会(沖縄県医療勤務環境改善支援センター)
〒901-1105 南風原町字新川 218-9
TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089
mailto:g1@ml.okinawa.med.or.jp

医療労務管理アドバイザー
社会保険労務士 名城 志奈

★ 労務管理トピック

医師の働き方改革 ～医師の働き方改革に関する検討会を開催～

平成 30 年 1 月 15 日に開催された「第 6 回医師の働き方改革に関する検討会」の内容が、厚生労働省から公表されました。今回の検討会では、中間論点の整理の骨子案のほか、「医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組」の骨子案が提示されています。

この取組は、一人ひとりの医師の健康やワーク・ライフ・バランスの確保と、医療の質・安全の向上のためにこれまでとは異なる新しい働き方を生み出していくこと、若手医師のキャリア形成を応援できる勤務環境を整えていくための第一歩であり、そのため医療機関において経営や組織運営全般に責任を持つ立場や、個々の医療現場の責任者・指導者の立場にある医師が主体的に取り組めるよう支援していくことが重要だとしています。

また、医師の勤務負担の軽減、労働時間の短縮に向けては、患者やその家族である国民の理解が欠かせないため、適切な周知と理解がなされることが不可欠となります。

具体的な取組の骨子案は、以下の通りです。

1. 医師の労働時間管理の適正化に向けた取組
2. 36協定の自己点検
3. 既存の産業保健の仕組みの活用
4. タスク・シフティング(業務の移管)の推進

政府が、平成 29 年 3 月にまとめた「働き方改革実行計画」では、時間外労働を罰則付きで規制する方針が示されましたが、応召義務があり、患者の急変などに対応が必要な医師については、5年間の猶予期間が設けられています。

同検討会では、今後、この「応召義務」などについても議論し、平成 30 年度末までに最終報告を取りまとめることとされており、今後の動向に注目です。

★Q&A



Q 36協定とは何ですか

A 労働基準法 36 条に基づく労使協定で、「さぶろくきょうてい」と呼ばれることが多いです。使用者が法定労働時間(1 日 8 時間、週 40 時間)を超えた時間外労働を命じる場合必要となり、労働組合等と書面による協定を結び、労働基準監督署に届け出る必要があります。届け出をしないで時間外労働をさせると、労働基準法違反(6 カ月以下の懲役または 30 万円以下の罰金)となってしまう。

また労働時間の延長限度は、原則として 1 カ月 45 時間・1 年間 360 時間ですが、限度時間を超えて延長しなければならない特別な事情が生じた時への対策として「特別条項付き 36 協定」を結ぶなど、例外取り扱いも規定されています。しかし実情として、同協定を結んでいない、あるいは結んだことが労働者に知られていないといった状況で時間外労働などが課せられていることも多く、社会問題化しています。

ご存知ですか？

平成26年10月施行の改正医療法により、病院または診療所の管理者は、医療従事者の勤務環境改善等への取り組みが努力義務化されました。将来にわたり質の高い医療サービスを提供していくためには、医療従事者が健康で安心して働くことの出来る環境整備が必要です。

沖縄県医師会

医療勤務 環境改善 支援センター

平成27年3月2日より沖縄県医師会事務局内にみだし支援センターを開設しました。本センターには医療労務管理アドバイザー（社会保険労務士）及び医業分野アドバイザー等を配置し、医療機関の自主的な勤務環境改善に必要な支援を行います。

まずは「できるところから」始めてみましょう

相談

情報
提供

助言

支援

医療勤務
環境改善に
関する研修会

労働時間管理（働き方・休み方等）
労働安全衛生（スタッフ健康支援）
施設環境整備（ハード・ソフト）
キャリア形成支援等

診療報酬制度面
医療制度・医療法制度面
組織マネジメント・経営管理面
各種補助メニューの活用提案

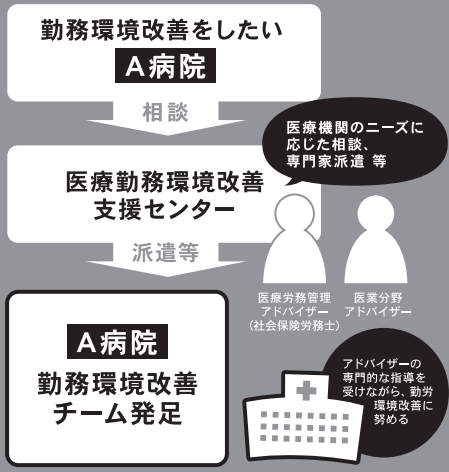
お問い合わせ

TEL:098-888-0087

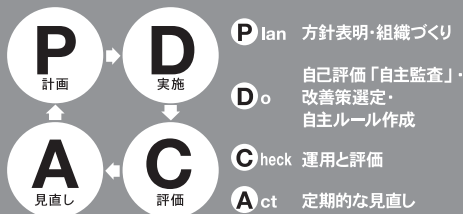
沖縄県医療勤務環境改善支援センター 〒901-1105 南風原町字新川1218-9
FAX:098-888-0089 平日9時～17時（土・日・祝祭日・年末年始除く） 沖縄県医師会事務局内

いきいき働く医療機関サポートWeb <http://iryou-kinmukankyoku.mhlw.go.jp/>

【医療勤務環境改善の手順】



PDCAサイクル



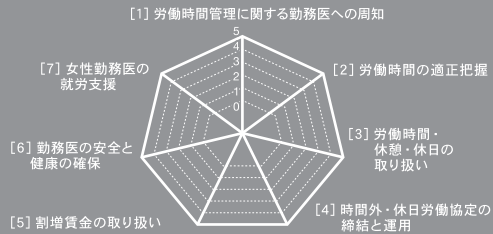
日本医師会 勤務医の健康支援に関する検討委員会
勤務医の労務管理に関する
分析・改善ツール
http://dl.med.or.jp/dl-med/kinmu/kshien_tool201403.pdf



勤務医の労務管理チェックリスト

- [1] 労働時間管理に関する勤務医への周知
- [2] 労働時間の適正把握
- [3] 労働時間・休憩・休日の取り扱い
- [4] 時間外・休日労働協定(36協定)の締結と運用
- [5] 割増賃金の取り扱い
- [6] 勤務医の安全と健康の確保
- [7] 女性勤務医の就労支援

勤務医の労務管理チェックリスト分析チャート



沖縄県医師会事務局 沖縄県医療勤務環境改善支援センター 行

お問い合わせ TEL:098-888-0087 FAX:098-888-0089

無料

沖縄県医療勤務環境改善支援センター利用申込書

記入日：平成 年 月 日

所属機関		
連絡先	TEL	内線	
担当者氏名		
希望相談支援内容	医療労務管理面 ・ 医業経営面		
相談方法	電話相談 ・ 訪問相談 ・ 来所相談		
希望日	平成	年	月 日

沖縄県医師会

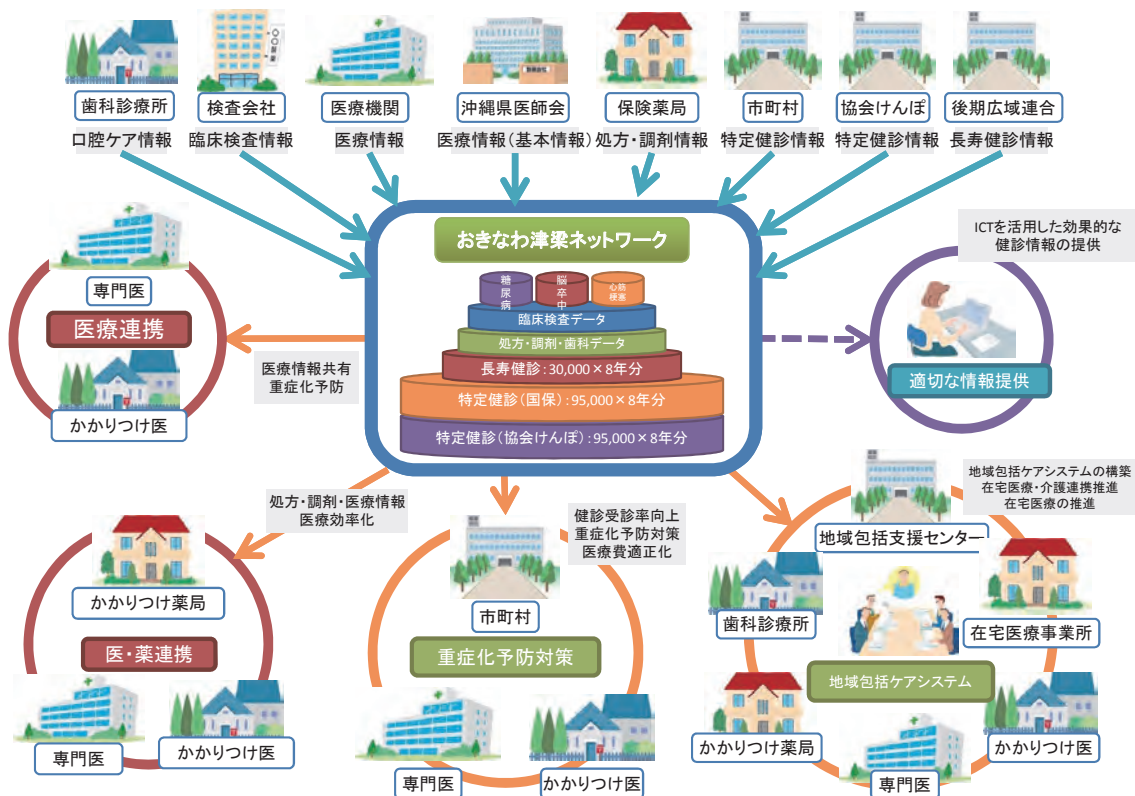


沖縄の新しい医療のカタチ！ 『おきなわ津梁ネットワーク』

セキュリティの高い特定の端末より、インターネットを介して、以下の医療情報を参照または関係機関と共有し、効果的かつ効率的な診療等に役立てるシステムです。

沖縄県医師会は、おきなわ津梁ネットワークというツールを用い、県民の健康推進・健康長寿復活を目指しております。

- 特定健診（市町村国保、協会けんぽ）や長寿健診の結果
- 各医療機関における臨床検査結果
- 糖尿病・脳卒中・急性心筋梗塞に特化した専門病院と診療所による地域医療連携パス情報
- 薬局より提供いただく処方・調剤情報
- 多職種より提供いただく患者さんの情報（在宅・介護情報等）



おきなわ津梁ネットワークに参加する医療機関のリストは、健康推進を目的に保険者と共有されます。





平成28年度診療報酬改定

診療情報提供書等の電子的な送受に関する評価

第1 基本的な考え方

現在、署名又は記名・押印が求められている診療情報提供書、訪問看護指示書及び服薬情報等提供文書とについて、電子的に署名を行い、安全性を確保した上で電子的に送受した場合にも算定可能とする。診療情報提供書への検査結果・画像情報等の添付について、電子的に送受・共有する場合についても評価する。

第2 具体的な内容

1. 医科診療報酬点数表に記載する診療等に要する文書、訪問看護管理療養費の算定に係る文書及び服薬情報等提供料の算定に係る文書の電子化

[算定要件]

(1) 電子的方法によって、個々の患者の診療に関する情報等を他の保健色湯機関等に提供する場合は、**厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」(平成25年10月)を遵守し、安全な通信環境を確保する。**

おきなわ津梁ネットワークの通信環境を活用

(2) 署名又は記名・押印を要する文書については、電子的な署名を含む。その場合、**厚生労働省の定める準拠性監査基準を満たす保健医療福祉分野の公開鍵基盤 (HPKI : Healthcare Public Key Infrastructure) による電子署名を施すこと。**

日本医師会の医師資格証を活用

2. 診療情報提供料 (I) 検査・画像情報提供加算の新設

(新) 検査・画像情報提供加算

退院する患者について、当該患者の退院日の属する月又はその翌月に、必要な情報を提供した場合 200点

入院中の患者以外の患者について、必要な情報を提供した場合 30点

[算定要件]

保険医療機関が、患者の紹介を行う際、過去の主要な診療記録を、他の保険医療機関に電子的方法で閲覧可能なように提供した場合に加算する。ただし、イについては、注7に規定する加算を算定する場合は算定しない。

3. 電子的診療情報評価量の新設

(新) 電子的診療情報評価料 30点

[算定要件]

保険医療機関が、別の保険医療機関から診療情報提供書の提供を受けた患者について、過去の主要な診療記録を電子的方法により閲覧でき、当該診療記録を診療に活用した場合に算定する。

[2及び3に係る施設基準]

(1) 他の保険医療機関等と連携し、患者の医療情報に関する電子的な送受信が可能なネットワークを構築していること。

(2) 別の保険医療機関と標準的な方法により安全に情報の共有を行う体制が具備されていること。



【お問合せ先】

沖縄県医師会業務2課 (知念・徳村・平良)

おきなわ津梁ネットワーク事務局


TEL : 098-888-0087 / FAX : 098-888-0089

E-mail : okinawa-shinryo@okinawa.med.or.jp

おきなわ津梁ネットワークの活用(例)


〔特定健診結果の活用〕

初診患者さん
同意説明




①問診票記入後、津梁ネットワークの趣旨を説明し参加同意取得

津梁ネット登録
健診受診を確認




②自院の患者としてシステムに登録
③健診受診の有無について確認

健診結果参照



④健診結果を直接端末より参照もしくは紙出力し、診察前に医師へ提供

要医療者への介入
健診受診勧奨



⑤健診結果より、その場で適切な治療開始
※重症化予防!
⑥健診未受診の場合、健診受診勧奨
※健診受診率向上!

〔救急外来診療時の活用〕

救急外来受付時
津梁ネット登録



①利用者カードの提示
②自院の患者としてシステムに登録
(初回のみ)

フェイスシート
紙出力



③フェイスシート(医療基本情報)を紙出力し、診察前に医師へ提供

アレルギー情報



救急診療の充実



〔調剤薬局での活用〕

受付時
津梁ネット登録



①利用者カードの提示
②自局の患者としてシステムに登録
(初回のみ)

健診結果・他薬局
調剤情報参照



端末参照 or 紙出力

健診結果を基にした
服薬指導・健康相談



他薬局調剤情報を
基にした適正処方



〔整形外科での活用〕

**白衣
高血圧？**
**仮面
高血圧？**

**リハビリ前の
血圧測定**

**健診結果参照
端末 or 紙出力**

[健診結果: 血圧]
H25: 170/110
H26: 165/108
H27: 166/102

**特定健診
結果**

**リハビリ可否判定
(参考資料)**

リハビリ中止基準
収縮期: 70以下、200以上
拡張期: 120以上

可否判定

〔眼科での活用〕

眼底・眼圧検査

**視神経
乳頭所見**

**眼圧
所見**

**健診結果参照
端末 or 紙出力**

[健診結果: 血糖]
H25: 7.0%
H26: 7.4%
H27: 7.7%

**特定健診
結果**

**精密検査・
専門医との連携**

精密検査

連携

〔産婦人科での活用〕

妊婦健診

**妊娠
中毒症？**

**医療基本情報参照
端末 or 紙出力**

[フェイスシート]
健診検査より
・体重の変化
・血圧の変化
処方調剤より
・服薬状況
アレルギーより
・禁忌薬等

アレルギー情報

フェイスシート

**検査・健診・
処方・調剤**

**状態に応じた
適切なケア**





システム利用に必要なもの

1.インターネット回線 ※利用者負担

- 既存回線が利用可能
- 光ネクスト、光プレミアム、Bフレッツ、フレッツADSL、YahooBB、ケーブルTV等

2.インターネットに接続可能なPC又はiPad ※利用者負担

- 既存端末が利用可能（但しスペック制限あり）
- Windows (Vista,7,8) ※Windows 10 はH28.4月以降対応予定
iOS (6.0以降)、Macintosh (X10.7以下) ※Macは現在調査中



3.ウイルス対策ソフトの導入 ※利用者負担

- 安全なものであればソフトの種類は問いません。

4.VPNソフトの導入 ※沖縄県医師会より配布

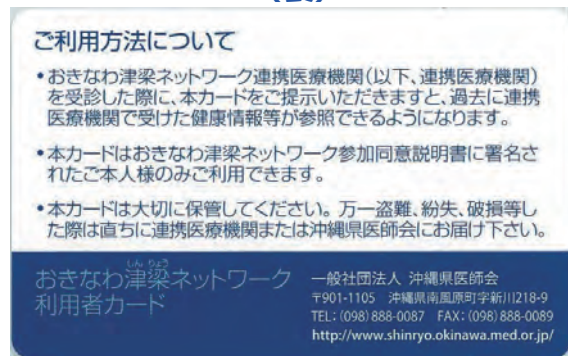
5.利用料金（月額）

病院（15,000円）
 診療所・歯科診療所・調剤薬局（5,000円）
 介護サービス事業所等（2,000円）

(表)

(裏)

利用者カード原寸大



〔お問合せ先〕
 沖縄県医師会業務 2 課（知念・徳村・平良）
 おきなわ津梁ネットワーク事務局
 TEL：098-888-0087 / FAX：098-888-0089
 E-mail：okinawa-shinryo@okinawa.med.or.jp

日本医師会が運営する医師のための私的年金
日本医師会 **医師年金**

最新マップへ
個人事務保護方針
重要事項のお知らせ

医師年金の特長 医師年金のしくみ 医師年金シミュレーション よくあるご質問 手続きガイド お問い合わせ・資料請求

豊かで安心できる将来に向けて

現役引退後、公的年金だけで、現在の生活水準を維持できますか？

医師年金についてシミュレーションしてみましょう。

保険料からシミュレーション 受給年金からシミュレーション

お知らせ

- 2018年2月26日 医師年金ホームページ「シミュレーション機能拡充」について
- 2018年3月21日 東日本大震災に関わる特別措置の終了について
- 2018年12月 認可特定保険料の認可取得に伴う制度改定のお知らせ
- 2018年4月9日 特定保険料の認可申請についてのお知らせ
- 2018年7月7日 医師年金を繰上り受給するお知らせ

医師年金の特長

- 日本医師会会員のための私的年金
- 独立型の私的年金
- 事務手数料が少額
- 年金の受取コースは受給開始時に選択
- 満64歳以降いつでも加入可能
- 一生享受される年金
- 保険料の増減は自由
- 年金の受取開始を満75歳まで延長可能
- 所属医師会・会費種別が変わっても継続可能

医師年金のしくみ

- 保険料について
- 加入資格について
- 給付について
- 費者年金
- 費者年金
- 医師年金
- 遺族年金
- その他
- 税金の取扱いについて

よくあるご質問 手続きガイド リンク 日本医師会職員 医師会会費

医師年金 HP のトップページの「保険料」及び「受給年金」からシミュレーションが可能です。

日本医師会が運営する医師のための私的年金
日本医師会 **医師年金**

最新マップへ
個人事務保護方針
重要事項のお知らせ

医師年金の特長 医師年金のしくみ 医師年金シミュレーション よくあるご質問 手続きガイド お問い合わせ・資料請求

医師年金シミュレーション

ホーム * 医師年金シミュレーション * 保険料からシミュレーション

医師年金シミュレーション

保険料からシミュレーション

生年月日、保険料を入力して、受給年金のシミュレーションをしてみましょう。

生年月日 昭和50年 1月 1日

基本保険料払込方法 月払 年払 一括払

加算保険料払込方法 月払 随時払 なし

加算保険料月額 10口 月払 60,000円

計算開始

*シミュレーションの試算結果(年金月額)は、総額計算による概算です。

お問い合わせ

必要な情報を入力し、「計算開始」のボタンをクリック。

日本医師会が運営する医師のための私的年金
 日本医師会 **医師年金**

[トップページへ](#) [サイトマップへ](#)
[個人情報保護方針](#) [重要事項の通知](#)

[医師年金の特長](#) [医師年金のしくみ](#) [医師年金シミュレーション](#) [よくあるご質問](#) [手続きガイド](#) [お問い合わせ](#)

ホーム > 医師年金シミュレーション > 保険料からシミュレーション

医師年金シミュレーション

保険料からプラン作成 (試算結果)

試算結果は簡易計算による概算です。

[戻る](#) [PDF](#)

保険料

■ 基本：月払 加算：月払

加算年金 (10口)	月払保険料 60,000円
基本年金	月払保険料 12,000円

40歳 ————— 65歳

支払期間 24年7ヵ月 (295回)

合計月払保険料 72,000円

■ 設定条件をご確認ください。

試算日	平成27年 3月16日
生年月日	昭和50年 1月 1日
試算日年齢	40歳
加入申込期限日	平成27年 5月15日
加入予定年月	平成27年 6月
加入時年齢	40歳5ヵ月
加算払込開始年月	平成27年 6月
年金受給開始年月	平成52年 1月
年金受給開始年齢	65歳
払込保険料累計	21,240,000円

■ 注意事項です。お読みください。

- 加入申込期限は、15日が土日・祝祭日の場合は、その前日となります。
- 「終身年金」は、加入者ご本人であれば一生受け取ることができます。
- 「保証期間15年」では、受給者ご本人が保証期間中におこなくなりになった場合、15年の残りの期間について、ご遺族の方が必ず受け取ることができます。
- 「受取コースの選択 (B1~B4)」は、受取開始の時に決めいただけます。
- 受取開始年齢は、75歳まで延長できます。
- 「受取年金月額」は概算です。現在は年利率1.5%での計算となっており、将来、年金の制度改定が行われる時は、変更になる場合があります。

受給年金

● B1コース

加算年金	保証期間15年 86,500円	終身
基本年金	保証期間15年 17,300円	終身

65歳 ————— 80歳

受取月額

103,800円 103,800円

15年受取総額 16,884,000円

● B2コース

加算年金	5年確定型 370,100円	
基本年金	保証期間15年 17,300円	終身

65歳 — 70歳 ————— 80歳

受取月額

387,400円 17,300円 17,300円

15年受取総額 25,320,000円

● B3コース

加算年金	10年確定型 191,900円	
基本年金	保証期間15年 17,300円	終身

65歳 ————— 75歳 — 80歳

受取月額

209,200円 17,300円 17,300円

15年受取総額 26,142,000円

● B4コース

加算年金	15年確定型 132,600円	
基本年金	保証期間15年 17,300円	終身

65歳 ————— 80歳

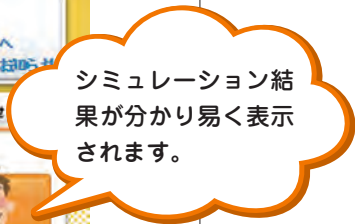
受取月額

149,900円 17,300円

15年受取総額 26,982,000円

[このページの先頭へ](#)

[戻る](#) [PDF](#)



生涯教育／プライマリ・ケア

平成 29 年 7 月 1 日

○字数制限

生涯教育 6,000 字以内とし、冒頭に 400 字程度の要旨をつけて下さい。

プライマリ・ケア 2,500 字以内

(図表 1 枚を 400 文字数に換算する必要がある)

○内容

生涯教育は、原則学術・実地医家にとって有用性の高い総説論文

プライマリ・ケアは、病診連携、病病連携等に資していただけるような、日常的な症状に関するミニレクチャー的な内容。

○原稿の書き方

①原稿はできるだけ Word、Excel、PowerPoint にて作成して下さい。

②原則として常用漢字、現代かな使い、算用数字を使用して下さい。

③図、表、写真の挿入場所を文中に指定して下さい。

④図表にはタイトルをつけてください。

⑤写真、図、表は原則として 10 枚以内とし、そのまま製版出来る鮮明なもので、特に写真は明瞭なものでご提出下さい。

⑥人を対象とした研究については、ヘルシンキ宣言を遵守したものであること、また症例を提示する際（症例報告）は、患者さんのプライバシーの保護やインフォームドコンセントなどに関する倫理的な問題に十分配慮されていること。

個人が特定され得る疾病に関しては、本人の同意を得ようご配慮下さい。

○文献

引用文献は最小限度（原則として 10 以内）とし、論文中にでてくる順に番号をつけ、末尾に以下の形式で一括して下さい。本文中には、引用部の右肩に 1) 2) 3) …の番号を付して下さい。引用の図表は出典を明記して下さい。

著者は複数の場合は筆頭者、他で記入下さい。

引用文献の記載項目並びに順序

○雑誌の場合

著者名：論文題名. 雑誌名 発行年；巻：ページ.

Ahonkhai VL, et al : Failure of pneumococcal vaccine in children with sickle-cell disease. N Engl J Med 1979 ; 301 : 26-27.

○単行本の場合

著者名：書名. (版数), 発行所, 発行所の所在地, 発行年；引用ページ.

Koch FC, et al : Practical Methods in Biochemistry. 2nd ed, William Willkins, Baltimore, 1948 ; 212 (or 212-215) .

○シリーズなど

執筆者名：執筆部分題名. 編者名, シリーズ名, 巻数, 発行所, 発行地, 発行年；引用ページ.

Kovec A : The liver and spleen. ed Bolinger RE, In Guide to Diagnostic Imaging, vol 1, Medical Examination Publishing Co Inc, New York, 1982 ; 123-140.

○ウェブサイトの場合

執筆者名 (編者名)：サイト名. URL (最終閲覧日)

運動器の 10 年・日本協会：学校での運動器検診の手引き. http://www.bjd-jp.org/medicalexamination/guide_0.html (2016 年 8 月 16 日閲覧)

月間 (週間) 行事お知らせ

○字数制限：2,000 字以内

○内 容：医療関係の行事等について

発言席

○字数制限：2,500 字以内

○内 容：会員の先生方のご意見や主張等

勤務医 / 臨床研修医

○字数制限：勤務医 2,000 字以内、臨床研修医 1,500 字以内

○内 容：勤務医・臨床医の先生方からのご意見・ご要望

地区医師会

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各地区医師会の活動状況
(例：テレビ番組やラジオ番組の放映、かかりつけ医推進事業等の厚労省モデル事業や独自の院内活動等)

若 手

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：今後の進路を決める先生方へのアドバイス等について（若手医師への提言、日常診療のコツ、開業顛末記等）

随筆 / 新春干支随筆 / 緑陰随筆

- 字数制限：随筆 2,500 字以内、新春干支随筆・緑陰随筆 1,500 字以内
- 内 容：日常診療のエピソード、青春の思い出、一枚の写真、趣味などの他、紀行文、特技書評、新年の抱負など

本の紹介

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：感動した、生き方が変わった、診療が変わった、新たに真実を知った本等々、会員の皆様の座右の本の紹介

いきいきグループ紹介

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各研究会、スポーツ同好会や摸合等の活動紹介

身近な闘病記

- 字数制限：2,000 字以内
- 内 容：ご自身又はご家族の病気療養の経験談について

追悼文

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：お亡くなりになられた先生への追悼

広 告

- 沖縄県医師会報の品位、及び体制を損なわぬものとし、採否については広報委員会で審議のうえ決定する。

投稿の方法

1. 会報への投稿の第一執筆者は、原則として沖縄県医師会会員であること。
2. 原稿には題名、氏名、勤務先(所属)を明記して下さい。
3. 図・表・写真は原則モノクロ掲載とし、カラーの場合は実費をご負担願います。
4. 送付方法は出来ましたらメール送信又はCD-R等での送付をお願いします。
5. 同一会員の原稿掲載回数は、1期(4～7月号)、2期(8～11月号)、3期(12～3月号)の各期ごとに1編のみ。
6. 写真の解像度は350以上をお願いします。表紙写真に関しては、会員本人撮影のものとする。
7. 掲載の採否は広報委員会で決定し、内容によっては原稿の修正等をお願いする事があります。

著作権

本誌並びにホームページに掲載される著作物の著作権は沖縄県医師会に帰属します。

送付先・問い合わせ先

沖縄県医師会 庶務課
〒901-1105 南風原町新川 218-9
TEL：098-888-0087 FAX：098-888-0089
E-mail：kaihou@ml.okinawa.med.or.jp

沖縄県の自殺対策会議に何度か出席したことがあります。子供たちが孤立し、他人との結びつきが希薄になり、SNSの世界に閉じ込められ、更に陰湿ないじめにより生きづらさを深刻化させています。人は誰かとの関わりの中に自分の存在に対する肯定感を持ったり、あるいは他人に対する畏怖、愛、信頼といった様々な感情が普通に芽生えていくものだと思います。今回の医事紛争担当理事連絡協議会にもありましたが、医療機関が抱えるクレーム処理で現場の心が大きく傷ついている事に心が痛くなります。いつの間に人は寛容な気持ちを失ったのでしょうか。

死体検案研修会報告は、現在増加している孤独死の問題が根っこにあると思います。超高齢化、一人暮らし世帯の増加、地域コミュニティの消失により、死体検案の件数は増えていくものだと思います。今やPTAの無い小学校も存在しているそうです。隣の子供にも、近くのおばあちゃんにも全く興味のない孤独な群衆が自分の権利ばかりを振りかざして、自分の価値観しか認めない様な時代なのでしょうね。

日本医師会女性医師支援センター事業は粘り強く続いていて素晴らしい。これからの医師の働き方改革の議論において、女性医師の働き方に対しての視点は大いに主張して行きたいものだと思います。

PHV・EV車輻による医療器機への電源供給に係る実証実験報告では、災害時を想定して電源供給が止まった場合どの様な方法で医療器機のバックアップを確保していくかについて具体的な取り組みが行われた様です。現在のPHV・EV車輻が人工呼吸器、在宅HOTを想定した酸素濃縮装置などの医療器機を十分な時間稼働できた様です。今回の実証実験は約2日。今後の実証実験を繰り返せば、医療機関はPHV・EV車輻の購入を災害時対策として検討する一つの材料になります。

第124回沖縄県医師会医学会総会報告では特別講演として革新的サイバニックシステム最前線のご報告がありました。ロボット工学が人間の仕事を支援するだけでなく、麻痺などで

失われた人間の機能に対しロボット工学を利用した方法でリハビリテーションを行う技術はかなりミラクルです。

沖縄県医師会新年祝賀会、医事功労者表彰式は厳粛に執り行われたとの事で、今回表彰を受けられた先生方の益々の健康とご活躍を祈念したいと思います。

生涯教育のAfに関する論文は現在の高齢社会におけるAf治療のスタンダードが経口抗凝固療法の進歩によってかなり敷居が低くなった感があり、今後の日常診療においてしっかり勉強しなくてはならないと思いました。プライマリケアコーナーで取り上げられた可逆性脳血管攣縮症候群という病名の存在をしっかりと念頭に置き、激しい頭痛(しばしば雷鳴様)の患者さんに遭遇した場合の対応に心がけたいと思います。

今回は沖縄県保健医療部 医療企画統括監の照屋敦氏のインタビューが掲載されています。社会保障はその財源の問題、人材確保の問題、離島医療圏を含めた配置の問題を総合的に考えて計画を立案しなくてはならず、大変な事だと思いますが、県医師会とのパイプを太くして是非県民の為に頑張ってくださいと思います。

耳の日に因んでのご寄稿には中枢性と末梢性めまいの鑑別ポイントが解りやすく解説されていました。那覇市で増加しているTB患者、その中には就学ビザで日本に入国している外国人がかなり含まれている様です。我々も日常診療で出会う可能性はありますね。随筆では与那国島の赴任経験を通じて離島医療を考える久田先生の文章も大変奥深いものを感じました。もう1編は同仁病院の上原久幸先生に在りし日の沖縄の思い出を書いて頂きました。いつの間にやら、私たちは雀の居ない日々何の疑問も感じていませんでした。自分の生活に必要なものと不要なものに分類し、関心を失い、自分の周りを無味乾燥の世界にしていたのでした。医師として、父親として、夫として、医師会理事として、様々な肩書きが私自身の心と遠く離れてしまっていました。もっと自分の心の近くで考えて生きていきたい、そんなことを毎日考えています。

広報委員 玉井 修